令和５年度　　学校評価（前年度前期・今年度前期の比較）分析

長崎市立戸町中学校

１　自己評価

領域	項　目	質　問　内　容	令和４年度前期 肯定的割合（%）			令和５年度前期 肯定的割合（%）			分析及び改善策
			生徒	保護者	教職員	生徒	保護者	教職員	
学校経営	教育目標	教育目標を達成している	92	87	100	94	83	85	校訓追求を中心とした教育活動については、生徒・保護者・教職員すべていおいて、おおむね理解されており、学校の雰囲気も良好といえる。 業務の改善については、昨年度より若干改善が見られるが、引き続き課題の洗い出しを行い、効率化等を推し進めていく。
	学校の雰囲気	明るく楽しい雰囲気である	83	91	100	83	88	90	
	組織運営	校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している			88			75	
	業務の改善	校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している			47			55	
心の教育	生活・生徒指導	ルールやマナーを身に付けている	96	84	100	93	82	65	問題発生時は全職員での即時の対応を行っている。 ルールやマナー、あいさつについては改善したいという教職員の割合が他に比べて多い。 戸町っ子の心を見つめる教育週間では実施日の延期など一部変更はあったが、道徳公開授業、各学年の講話および校外学習を実施した。 平和集会（９月）も実施し、今後は人権集会（１２月）への取組を進めていく。
		挨拶をよくしている	97	81	76	92	64	60	
		教職員は悩みや相談に親身に対応している	88	77	94	89	76	95	
	いじめ防止対策	学校はいじめ防止のための対策をとっている	73	79	100	75	78	90	
	人権教育	生命や人権を尊重しようとする心が育っている	94	89	100	97	86	80	
	平和教育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている	94	88	88	90	84	85	
	特別支援教育	学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている	86	73	82	87	75	90	
確かな学力	特色ある学校づくり	伝統や校風の実態に即した教育を行っている	92	86	82	92	90	95	昨年度から「学習者用端末を用いた授業改善」をとおした学力向上を目指している。 家庭学習については、生徒、教師に関しては上昇が見られるが、引き続き改善に向けた対策が必要である。
	学習指導・教育課程	わかりやすい授業を行っている	86	73	88	86	76	100	
		家庭学習の習慣が身に付いている	71	58	23	75	56	35	
	キャリア教育	将来の進路や職業について適切に指導している	71	69	100	74	76	80	
		長崎の町や自分が住んでいる地域が好きである。	86			87			
健やかな体	保健・衛生	衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている	86	83	100	91	87	90	コロナが５類へ移行され、基本的には制限なしの体育大会や中総体が開催された。全体的に評価が上昇しているのは、これらの影響もあるものと考えられる。 食育については、各学年で実施時間を昨年度よりも増やし、全体的に食に関する意識が高まったことがうかがえる。
	体力向上	基本的生活習慣が身に付いている	87	82	94	90	90	70	
		体力向上に努めている	92	78	88	93	84	95	
	食　育	食に関する教育活動を行っている	81	80	82	89	86	100	
信頼される学校	安全管理	児童生徒の安全に気を配っている	75	75	100	81	78	95	安全管理については、教師の思いや取組が、生徒・保護者に十分に理解されていない面がある。 今後も保護者・地域との連携を一層深め、情報交換を積極的に行うことで、信頼される学校づくりを進めていきたい。
	情報提供	学校の状況は、通信やＨＰ等で知ることができる	81	86	94	87	89	100	
	PTA・地区との連携	学校はＰＴＡや地域との連携がとれている	90	87	94	93	91	95	
	職員の資質向上	研修が充実し、資質が向上している			71			90	
教育環境	環境整備	教育環境が充実し、整備されている	66	76	47	74	77	80	生徒とともに「自分たちできる環境整備」について考え、取り組ませていきたい。 補修、修理については庁務員、学校事務と相談し対応を進める。
	職場環境	学校は働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる			76			70	